

中島 数宜 議員

録画映像

Q「紙おむつ」一歩踏み込んだ支援を

A 町　長

持続可能でかつ実効性のある支援の充実に努めてまいります。

Q1

紙おむつの支援の現状は。

A1

高齢者については、一定の支援要件を満たしている家族に対して「家族介護用品支給事業」により実施している。乳幼児への支援に対しては紙おむつ購入費も含めた妊婦のための支援給付金等により支援している。

Q2

高齢者が令和７年度に紙おむつの支援を受けた人は僅か６名に過ぎない。支援しているとはいえない。町独自の支援と、支援要件の緩和、制度の見直しが必要ではないか。

A2

制度の導入時と比較して昨今の物価高騰で世帯の家計に与える影響は深刻であると認識している。支給要件を含め現状の課題を精査する必要があると考えている。

Q3

紙おむつの支援は単にお金を出すだけではなく、町が高齢者、障がい者、子育て世代に暖かく寄り添っている強いメッセージに繋がる。一歩突っ込んだ検討をお願いする。

A3

制度の動向や他自治体の現状等も注視しながら引き続き調査・研究に努める。





福垣内 邦治 議員

録画映像

Q 生成ＡＩの活用状況と今後の展望は

A 町　長

安全を確保し、全庁的な活用で時間を創出し、行政サービスの質向上を図る。

Q1

生成ＡＩの導入状況は。

A1

全庁的に導入し、約100人の職員が既に業務で利用している。

Q2

情報管理などの安全対策は。

A2

ガイドラインを定め、個人情報の保護と事実確認を徹底している。





Q3

職員の人材育成と研修は。

A3

全職員の利用前の事前研修を必須とし、実践的な研修内容としている。

Q4

全庁的な活用と住民サービスへの展開は。

A4

活用事例を全庁的に共有・展開し、業務効率化と住民サービス向上へ繋げていく。

Q ごみ出しルールについての町の考えは

A 町　長

ごみ出しルールの周知を強化し、指導体制の充実を図る。



水原 耕一 議員

録画映像

Q1

外国人のためのごみ出しカレンダーは、何ヶ国語に対応しているか。

A1

英語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語の４ヶ国語を準備している。

Q2

その他の外国人が在住された場合の対応は。

A2

やさしい日本語版ガイドを配布している。必要に応じて翻訳アプリによる対応や外国人総合相談窓口を利用していただいている。



Q3

自治会未加入者がごみステーションの利用を禁止され、遠方のごみステーションに捨てたり、不法投棄に繋がるケースが生じているが、町の考えは。

A3

本町の住民であれば、自治会加入・未加入に関わらず、行政サービスとして収集運搬業務を受ける権利があると考えている。一方で、ごみステーションは地元で管理されており、地域の方の自主的な運営によって成り立っているため、未加入者もごみステーションの清掃などの管理運営に携わっていただく必要があると考えている。

Q 森づくり交付金による草刈りはもう限界では

A 建設農林部長

各地域の意見を聞きながら維持管理していく。

Q1

熊野団地・さくら野団地・皇帝ハイツの町有地ののり面の草刈りを森づくり交付金を活用し行われている。文字通り森を作る交付金なので草刈りの仕方が違う。どのような刈り方か。

A1

木の生長が進んでいる個所で、伐採や枝打ち、間伐等と併せて実施している。

Q2

森を作る刈り方なので次に刈るときは森の状態になっており、ますます刈るのが大変で費用がかさんでくるのではないか。



A2

年数が経つに連れて伐採等の費用がかさむ傾向ではあるが、緑化による植物の働きによりのり面の崩落を防止し、土砂災害の抑制に寄与している。

Q3

住宅に近いのり面だけでも防草シート等を使用して管理することは考えられないか。

A3

近年多く見られ、夏場の照り返しや雨水の流出などの問題が考えられるが、草の繁茂による苦情も増加傾向にあるので、今後も持続的に管理ができるように方法の見直しを考える。